

令和5（2023）年度
事業報告書

自 令和5（2023）年4月1日
至 令和6（2024）年3月31日

学校法人 未来創造学園

I. 法人の概要

1. 建学の精神

スローガンに、時代を生き抜く「高い専門性」と「豊かな人間力」の育成を掲げ、全教職員が一丸となって、日々の一つひとつの教育活動を着実に実践し、常に先を見通す論理性や人間の機微がわかる感性を養い、総合力に富む真の意味で社会に貢献できる人材を育成する。

2. 教育理念

熊本電子ビジネス専門学校

「進取」「明朗」「誠実」

熊本デザイン専門学校

「真心」「創造」「調和」

【職員の努力目標】

職員が、学生の輝く未来に向けて、教育へのロマンやポリシーを持ち続け、使命感や熱い情熱のもと、仕事は、常に「厳しく」、職場の雰囲気は、「明るく」をモットーに、次の努力目標を掲げる。

- ・学校に関わる職員として、接遇マナーの充実は、生きた学生指導であることは勿論、学校の満足度や信頼感を高めていく日々の最も大切な取組である。一人ひとりが、学校の顔であるという意識を持ってマナーアップの高揚に最大限努めること。
- ・職員一人ひとりが、常に各種データや動きに敏感になり、アンテナを高くして情報収集に努めるとともに、教職員がお互いに知恵を絞り、各校務分掌が活性化することは勿論、何と言っても、組織としての総合力が発揮されなければならない。
- ・一つひとつの教育活動や各種諸活動において、前例踏襲又は事業消化ではなく、「準備で勝負が決まる」という姿勢で、準備の段階で、工夫改善を行うなど心を込め、力を注ぎ、常に新鮮な気持ちで臨むこと。
- ・授業や校務分掌等に対するスキルアップを含め常に自己啓発の意欲を持ち続け、職責遂行のため絶えず研究と修養に努める。
- ・「授業は1回限りの真剣勝負」と捉え、学生の知的好奇心に応える授業実践を目指す。
- ・学生の心に響く指導を常に心がけ、授業、学校行事をはじめすべての教育活動で実践する。
- ・保護者や関係機関との連携強化を目指す。教育効果をあげるためには不可欠。
- ・学校評価、授業評価、自己評価等を行い、絶えず見直す視点を持ち改善を図り、開かれた学校の実現とともに説明責任を果たす。
- ・危機管理意識の高揚を念頭に置き、すべての教育の面でリスクマネジメント意識を高める。

3. 沿革

- S. 60 専修学校 熊本電子ビジネス専門学校として認可
- S. 61 熊本電子ビジネス専門学校開校
(情報処理本科・経理本科・ビジネス秘書科)
- S. 62 熊本電子ビジネス専門学校B館増築工事竣工
経理本科を情報経理科に名称変更
- S. 63 通産大臣より情報化人材育成連携機関として委嘱
- H. 05 専修学校 熊本デザイン専門学校として認可
- H. 06 熊本デザイン専門学校開校
(グラフィックデザイン科・インテリアデザイン科)
熊本電子ビジネス専門学校 情報処理科を情報システム科に名称変更
- H. 07 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディア科を新設
- H. 09 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディア科をマルチメディアクリエイター科とマルチメディアインストラクター科に分け、情報経理科を経営経理科に、ビジネス秘書科をビジネスキャリア科に名称変更
熊本デザイン専門学校 マルチメディア科を新設
- H. 10 熊本デザイン専門学校白山校舎竣工
- H. 12 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディアインストラクター科をマルチメディアインターネット科に、経営経理科をビジネス経理科へ名称変更
熊本デザイン専門学校 ファッションデザイン科を新設
- H. 14 熊本デザイン専門学校 マルチメディア科をマルチメディアデザイン科に名称変更
- H. 17 熊本デザイン専門学校 マルチメディアデザイン科をメディアデザイン科に名称変更
- H. 19 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディアクリエイター科をゲームクリエイター科に、マルチメディアインターネット科をWEBクリエイター科に名称変更
- H. 20 熊本電子ビジネス専門学校 WEBクリエイター科を情報ビジネス科に名称変更
- H. 21 熊本電子ビジネス専門学校 ゲームクリエイター科をデジタルクリエイター科に、ビジネス経理科を情報経理科に名称変更
- H. 22 熊本電子ビジネス専門学校の設置者を学校法人未来創造学園に変更
熊本デザイン専門学校 メディアデザイン科を映像デザイン科に名称変更し、インテリアデザイン科は文化・教養専門課程から工業専門課程の建築・インテリアデザイン科へ変更
- H. 23 熊本デザイン専門学校の設置者を学校法人未来創造学園に変更
- H. 25 熊本電子ビジネス専門学校 情報システム科をITエンジニア科に、情報ビジネス科をITビジネス科に名称変更、また、情報経理科を廃止し、医療事務科を新設
熊本デザイン専門学校 映像デザイン科をメディア映像デザイン科に名称変更

- H. 26 熊本電子ビジネス専門学校 デジタルクリエイター科が職業実践専門課程として認定
熊本デザイン専門学校 ファッションデザイン科が職業実践専門課程として認定
- H. 27 熊本電子ビジネス専門学校 ビジネスキャリア科を総合ビジネス科に名称変更、またITエンジニア科、ITビジネス科、医療事務科、総合ビジネス科が職業実践専門課程として認定
熊本デザイン専門学校 グラフィックデザイン科、メディア映像デザイン科、建築・インテリアデザイン科が職業実践専門課程として認定
- R. 06 現在に至る

4. 設置する学校・学科等 (令和5(2023)年5月1日現在)

①熊本電子ビジネス専門学校 【昭和61年4月開校】

(熊本市中央区九品寺2丁目2-38)

○工業専門課程

ITエンジニア科	昼間部2年制
デジタルクリエイター科	昼間部2年制
ITビジネス科	昼間部2年制

○商業実務専門課程

医療事務科	昼間部2年制
総合ビジネス科	昼間部2年制

②熊本デザイン専門学校 【平成6年4月開校】

(熊本市中央区大江本町2-5)

○文化・教養専門課程

グラフィックデザイン科	昼間部2年制
メディア映像デザイン科	昼間部2年制
ファッションデザイン科	昼間部2年制

○工業専門課程

建築・インテリアデザイン科	昼間部2年制
---------------	--------

5. 学校の学生数の状況等 (令和5(2023)年5月1日現在)

①熊本電子ビジネス専門学校

(単位：名)

学 科	修業年限	入学定員	収容定員	現 員	備 考
I Tエンジニア科	昼2年	40	80	79	
デジタルクリエイター科	昼2年	30	60	58	
I Tビジネス科	昼2年	30	60	53	
医療事務科	昼2年	30	60	25	
総合ビジネス科	昼2年	30	60	36	
計		160	320	251	

②熊本デザイン専門学校

(単位：名)

学 科	修業年限	入学定員	収容定員	現 員	備 考
グラフィックデザイン科	昼2年	70	140	139	
メディア映像デザイン科	昼2年	25	50	44	
ファッションデザイン科	昼2年	25	50	19	
建築・インテリアデザイン科	昼2年	40	80	66	
計		160	320	268	

6. 役員の概要 (令和5(2023)年5月1日現在)

定数：理事5名、監事2名

区 分	氏 名	常勤・非常勤	摘 要
理事長	吉山 昌利	常勤	平成30年6月 理事長就任
理事	内藤 謙一	常勤	令和3年8月 理事就任
理事	吉山 壽一	常勤	平成21年12月 理事就任
理事	鶴田 紀一	非常勤	平成24年6月 理事就任
理事	木庭 順子	非常勤	令和元年6月 理事就任
監事	古庄 隆一	非常勤	平成30年8月 監事就任
監事	水田 誠	非常勤	令和4年8月 監事就任

7. 評議員の概要 (令和5(2023)年5月1日現在)

定数：13名

	氏名	選任条項	任期	備考
評議員	吉山 昌利	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	内藤 謙一	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	吉山 壽一	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	徳村 尚晃	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	千田 浩一	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	白野 徹	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	藤米田 哲郎	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	染矢 由美	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	坪根 涼	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	吉山 齊一	第1号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	児玉 守	第2号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	中田 有紀	第2号	R4.6.1 ~ R7.5.31	
評議員	垂水 治樹	第3号	R4.6.1 ~ R7.5.31	学外者(外部 評議員)

8. 教職員の概要 (令和5(2023)年5月1日現在)

学校名	教員		職員
	常勤	非常勤	
熊本電子ビジネス専門学校	11	28	9
熊本デザイン専門学校	13	43	8

9. その他

令和6年3月に古庄隆一氏が監事を退任。

II 事業の概要

1. 事業の概要

当学園は、熊本電子ビジネス専門学校、熊本デザイン専門学校の2校を有する学校法人で、学生数は令和5年5月1日現在で519名である。

(1) 学生募集について

昨年に引き続きIT業界を目指す入学者が増加している。また、ビジネス分野への入学希望も増加傾向にある。

デザイン業界については、グラフィック分野・ファッション分野への入学希望が増加している。熊本電子ビジネス専門学校については、高校訪問の強化や各ガイダンス、オープンキャンパス対応について学校全体で取り組み工夫・改善した結果、情報分野だけでなくビジネス分野の希望者も増加した

熊本デザイン専門学校においても同様に高校訪問の強化や各ガイダンス、DMによる周知徹底、オープンキャンパス対応に全体で取り組んだ結果、グラフィックデザイン科とファッションデザイン科の入学者が増加した。

今年度は会場及び高校内ガイダンスも増加し、高校生と対面にて学校説明を行える機会が増えている。オープンキャンパスについても2・1年生の参加が増えてきている。次年度に向けてオープンキャンパス、イベント等への参加者増と共に、学校、学科の魅力をさらに高める取り組みを実施していく。

(2) 教育について

学生も保護者も教師を選ぶことはできないことを常に意識し、教師としての使命感と責任感を自覚し、「講義・実習は1回限りの真剣勝負」と捉えて学生の好奇心に応える講義等の実践を実施していくことを常に忘れず、今年度も講義、学生指導に取り組んできた。

今後の状況変化に対応するため、順次電子黒板を導入し、Udemyなどの補助教材の導入も視野に取り組んでいく。また、学生のメンタル面のケア、授業や就職活動へのモチベーション維持なども継続して取り組んでいく。

(3) キャリア支援について

今年度は学園全体での求人件数707件、就職内定率は97.1%だった。昨年より求人数は若干減少したものの、内定者数は4ポイント上昇した。

内定率については個別の面接指導の実施や教職員一丸となったフォロー体制を構築し、就職未決定者については、個別指導等により対応していく。

今年度もWeb面接を実施する企業が増えてきており、オンライン面接専用BOXの導入などの環境整備やスケジュール調整、面接指導などの対策を行い、学生の就職活動を万全の態勢でサポートしていく。

2. 主な事業の進捗状況について

(1) 指定校推薦入試制度について

等学校法人を取り巻く環境については、少子化の進行や大学への進学増加、就職状況の好調など厳しい状況が続いており、その中で、より高い目的意識を持った生徒の皆様方を迎え入れ、技術や知識だけではなく、人間力を兼ね備えた社会に貢献できる人材の育成を目指すべく、今年度も引き続き指定校推薦入学制度を実施していく。制度の内容としては推薦条件を4項目挙げ、全ての条件を満たす者がこの制度にて受験できる。なお、選考方法は書類審査のみとし、対象高等学校に推薦枠を設けている。

(2) 産学連携について

産業界と学校が互いに連携し、共同研究、商品開発、技術教育を推進することにより、学生の実践力向上にかなりの効果が期待でき、連携先企業の新規開拓や既存クライアント企業との関係強化が図れることもあり、今後も積極的に取り組んでいく。

【主な産学連携】

- ・熊本県立劇場様 明後日朝顔プロジェクト
- ・熊本市交通局様 マナーアップポスター
- ・再春館製薬所様 eスポーツグッズデザイン
- ・城野印刷所様 J・O・NOTE表紙デザインコンテスト
- ・富坂建設様 SNS動画制作
- ・コスギ不動産ホールディングス様 「マンション・リノベーション」計画
- ・といろ様 ファッションショー衣装デザイン
- ・東亜不動産様 LINEスタンプ制作
- ・LaTo様 新規事業「my myドルチェ」のホームページ制作

(3) 職業実践専門課程

職業実践専門課程とは、専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするものである。当学園では2校9学科が既に認定を受けている。

(4) 高等教育の就学支援新制度

この制度は、「大学等修学支援法」に基づき、おもに低所得者世帯を対象に、高等教育機関（大学・短大・高専・専門学校）の入学金や授業料が減額または免除される制度。また、学資支援として、返還の必要がない奨学金の支給も行われる。当学園も文部科学省より就学支援対象校として認定されている。

(5) 各種検定、コンテスト

検定試験、コンテストについては将来プロとして働くためのスキルの証。当学園では検定試験の取得やコンテスト入賞に力を入れている。情報分野については応用情報技術者試験33%（11名/3名）、基本情報技術者試験29%（13名/45名）、CG-ARTS検定 CGエンジニア・エキスパート100%（4名/4名）、CG-ARTS検定 CGエンジニア・ベーシック93%（14名/15名）、CG-ARTS検定 CGクリエイター・ベーシック38%（6名/16名）、CG-ARTS検定 Webデザイナー・ベーシック42%（15名/36名）、J検情報システム試験システムデザインスキル50%（1名/2名）、J検情報システム試験プログラミングスキル84%（21名/25名）、など。今後も情報系国家試験については合格率アップを目指し取り組んでいく。ビジネス分野では秘書技能検定1級50%（1名/2名）、秘書技能検定準1級83%（10名/12名）、サービス接遇実務検定準1級100%（15名/15名）、ビジネス文書技能検定2級64%（9名/14名）、アシスタントウェディングプランナー ジュニアライセンス検定92%（11名/12名）、ホスピタルコンシェルジュ検定3級100%（12名/12名）、日商簿記検定試験2級50%（1名/2名）、診療報酬請求事務能力認定試験50%（6名/12名）、医薬品登録販売者試験77%（10名/13名）など。今後もより上位の検定試験取得に向けて取り組んでいく。デザイン分野では、レタリング技能検定3級83%（58名/70名）、ファッションビジネス能力検定2級67%（2名/3名）、ファッションビジネス能力検定3級92%（12名/13名）、色彩検定2級94%（45名/48名）、色彩検定3級76%（38名/50名）、CGクリエイター検定ベーシック87%（13名/15名）、J検情報デザイン試験初級81%（13名/16名）、福祉住環境コーディネーター2級11%（4名/38名）、2級建築士17%（1名/6名）、2級施工管理技士17%（1名/6名）、カラーコーディネーター検定試験アドバンスクラス リフォームスタイリスト1級100%（2名/2名）、カラーコーディネーター検定試験アドバンスクラス リフォームスタイリスト2級50%（12名/24名）など、資格取得に向けて積極的にチャレンジし、合格実績を上げることができた。また、かごしまデザインアワード デザインコンペ企画賞など、コンテストにおいても多くの学生が入賞した。

(6) 施設・設備について

熊本電子ビジネス専門学校では、教室及び実習室のブラインドを一新し、教室の机と椅子を一部更新した。また、一部教室に電子黒板を導入した。

熊本デザイン専門学校では、Wi-Fiネットワーク環境整備を実施し、実習室のパソコンを一部追加購入した。また、教室に電子黒板を追加導入し、教室の机と椅子を一部更新した。

○施設等の概要（令和5（2023）年5月1日現在）

①熊本電子ビジネス専門学校	校地	1, 482 m ²
	校舎	519 m ²
②熊本デザイン専門学校	校地	2, 202 m ²
	校舎	614 m ²

Ⅲ 財務の概要

財務の概要については、別途「財務状況」参照。